

いまウクライナで…

先々週から当ブログで連載していた「アフリカからの便り」を中断、予定を変更しました。それは、いま世界中の人々はその動向に注目しているショッキングな出来事、つまりロシアによるウクライナ侵攻の問題です。実は私は2020年の夏にチェルノブイリを旅行する計画を立てていただけに、ウクライナでの出来事に人一倍関心を持って情勢を見守っているところです。こうした中、先週末、「国語科」の出岡先生からの誘いがあり、中学2年1組で「特別授業：ウクライナ問題を考える」という機会をいただき、喜んで引き受けた次第です。40分足らずの短い時間でしたが、生徒の皆さんは自分たちの問題として真剣に考えてくれたと感じた次第です。

ここでは、その続きを少し説明しておこうと思います。もちろん、武力でウクライナの人々に分断と対立を迫るプーチン大統領のやり方を世界の人々は許さないでしょうし、ロシア国内でも多くの人々が反発し、抵抗を主張しています。それにつけても、ウクライナ国内でアパートや地下鉄の暗い防空施設に身を寄せ、おびえる眼差しの人々の姿に心が痛みます。

では、かつてはキエフ公国の構成メンバーとして「兄弟民族」と呼ばれた東スラブ族でありながら、どうして今回のような対立が生まれるのでしょうか？

思い起こせば私が中学高校時代には、ソビエト社会主義共和国連邦が巨大な工業力を誇っており、その一つの共和国であったウクライナでは東部のドネツ炭田とクリヴォイログ鉄山を中心としたコンビナート*、ドニエプル川流域から黒海にかけての肥沃な黒色土壌：チェルノーゼムを背景とした穀物地帯などを「地理」の授業で覚えた記憶があります。

チェルノーゼムとは、ちょうどグラウンドの野球のマウンドの色のように「黒い土」で、枯れ草が腐食してきたカルシウムと有機質に富む「土の皇帝」とも形容される土壌で、かつてはこの豊かな土地と田園風景が紛争の火種にもなりました。

また一方で、ロシア経済は付属資料(世界のGDPシェアから分かるようにロシア経済は衰退の一途をたどっており、最大の輸出品は石油と天然ガス、ダイヤモンドなどの鉱産資源です。戦争状態になれば、石油価格も高騰し、ロシア経済は潤うとも言われます。

加えてロシアの政治的状況はと言えば、東西冷戦終結によりソ連を中核とする旧ワルシャワ条約機構軍は解体されたのに対し、アメリカ軍やEUを中心とする



ロシア侵攻を伝える新聞各紙1面

ウクライナの基礎情報

外務省 HP より

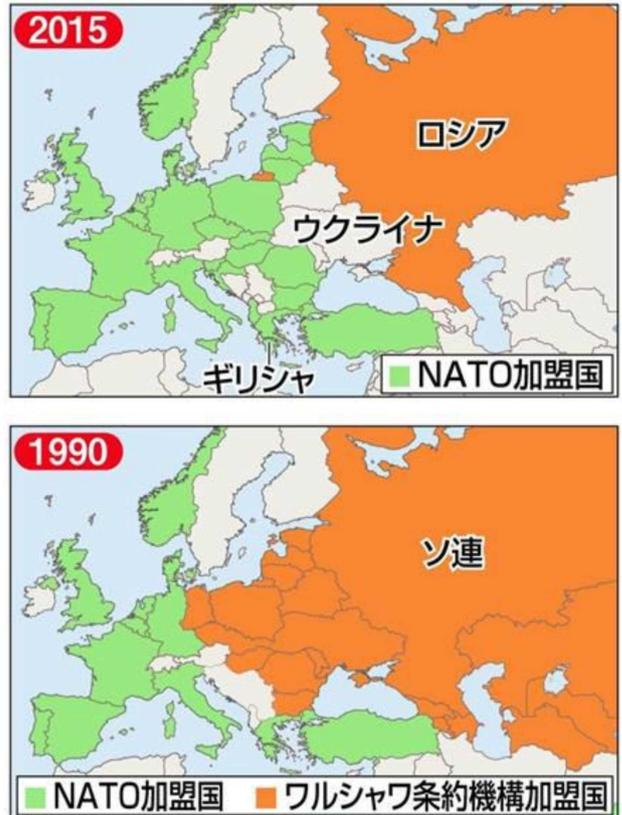
- 独立 1991年4月
- 面積 60万3700km²
- 人口 4159万人(2021,クリミアを除く)
- 首都 キエフ
- 民族 ウクライナ人77.8%、ロシア人17.3%、ベラルーシ人0.6%ほか
- 言語 ウクライナ語、その他ロシア語など
- 宗教 ウクライナ正教、東方カトリック教ほか
- 政体 共和制(ゼレンスキー大統領)
- 1人当たりGDP 3726ドル(2020 世銀)
- 通貨 フリヴニャ(UAHと表記)
1UAH=3.94円(2022.2)

*コンビナート建設によりロシア人が多数移住した結果、東側にロシア人移住者=ロシア語を話す人々が増えた。

NATO 軍は勢力を東へと拡大しているのです。その最前線がウクライナという訳です。その意味でプーチン大統領は同盟国として、どうしてもウクライナを自陣に留めておく必要があるというのです。しかし、この間、ウクライナの政治状況はプーチン・ロシア側には旗色が悪く、ウクライナでは 2004 年のオレンジ革命で親口派政権が倒れて以降、親欧米寄りの政権が続いているのです。因みに、2018 年の大統領選挙では、親欧米派の候補の三つ巴となり、現在のゼリンスキー大統領(1976 年生)が当選したのです。

この記事を書いている最中、プーチン大統領がウクライナへの全面攻撃を指示したとのニュースが流れ、さらなる混乱が予想されます。政治家の役割と正義とは何か？そして 1 日でも早くウクライナとロシアの人々に、平穏で平和で安全な日々を取り戻せることを切に願っています。「武力は決して解決にはならない。懐疑と憎悪と復讐しか生み出さない」という言葉を噛みしめ、私たちにできることと真剣に向き合ってください。

変わる欧州の安全保障情勢

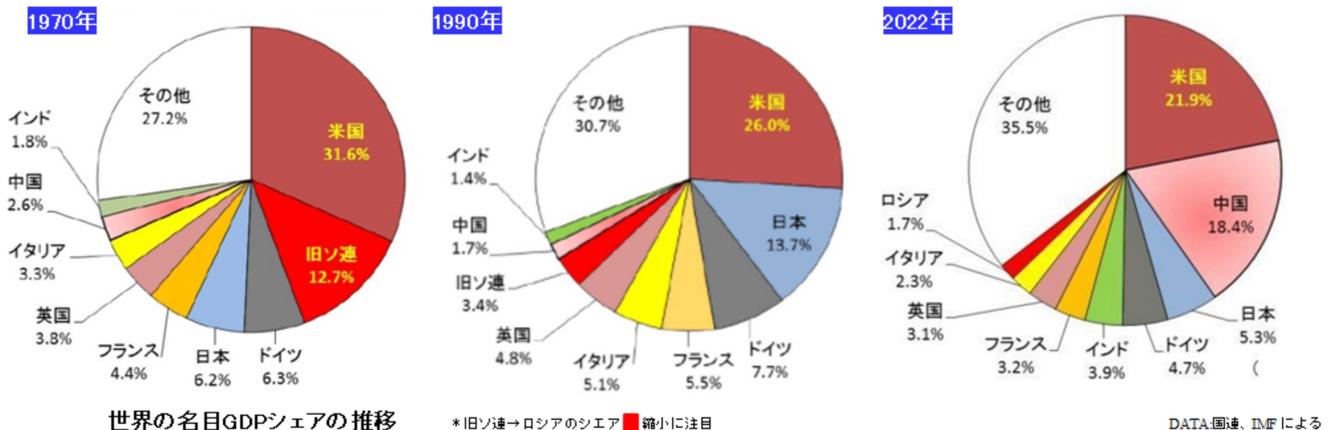


<https://www.iza.ne.jp/article/20150708>による

ウクライナ略史

年代	9 - 13 世紀	13 世紀半ば	14 - 19 世紀	19 - 20 世紀	1922-1991 年	1991 年 -	
概	キエフ公国 (ルーシ)	モンゴル人の侵入	ウクライナ・コサック時代	分割統治 ~ 帝政ロシア	ソ連時代	ウクライナ共和国	
要	現在のベラルーシ、ウクライナ、ロシアにまたがる大國。黒海をさざみビザンツ帝国と交易	モンゴル勢力の支配下に入る(タタールのきびき)	ポーランド、リトアニア、ロシアなどが周辺地域を占領	1654:ポーランド、ロシアによる分割統治 18 世紀後半:エカテリーナ二世によるロシア編入	ロシア・ソビエト社会主義共和国連邦成立 1996:チェルノブイリ原発事故	1991.4:独立宣言 1996:憲法制定 2004:オレンジ革命 2014:ロシアがクリム半島を実行支配	
転換点		モンゴル軍キエフ攻略 [1240]	ポーランド、リトアニアによる占領 [1648]	クリミア戦争 [1853]	クリミア戦争 [1853-66] ロシア革命 [1917]	第二次世界大戦 [1939-45] ソ連崩壊 [1991]	ロシア、ウクライナ併合 [2022]

DATA:ウクライナ大使館のホームページを元に編集



参考図書

スヴェトラーナ=アレクシエービッチ, 訳:三浦みどり (2016) 『戦争は女の顔をしていない』岩波現代書店, 498 ページ.